

一 直ニ本社ニ出頭帰航セラルルカ

二 合意直止ニ必要ト委任状ヲ當方ニ差出サルルカ 但シ此場合當方ニ
直接手交セラルル事

右不履行の場合ハ不帰航トシテ産止メノ外ニ得サル事ト御諾承相成度也
ノ書状ヲ速達郵便トシテ發送セルカ他航(不航員)ニ對シテモ同一手段方
法ニ依リ産止メヲ為スヤ決定ニ至ラス

三 明朗會ノ會社革新運動ノ目標ナル中心人物海務課長津田格介ハ本
運動ニ關シテ、如ク語レリ

今回ノ革議ハ若手船員ノ一部カ結束シテ互ニ不平ヲ持チ寄り多数船員ヲ擁
動シ且ツ愛國団体等ト連絡ヲ執リ問題ヲ惹起シタモノヲ殊ニ政治的ニ自分達
立場ヲ有利ニ展開シメントスル策動ト認ムル点カナル會社トシテハ下級船員對シ
會社ノ誠實ナル態度ヲ諒解セシムト同時ニ籠城者ニ對シテハ其切實ヲ講シタイト考
ヘテ居ル問題ハ勞資間ノ革議トハ全く形態ヲ異ニシテ居ルヲ各個人ニ對シ懇談ス
ハ誤解ヲ一掃シ得ルト思フ各港ハ大ナル支障ナク豫定通り出航シテ居ルヲ
今日以上問題ハ擴大シナイト思フ云云

五 日本海員組合東京支部長小林澄三郎ノ言動

私カ見テ今回革議ヲ起シテ明頭會ハ會員五六百名ハアールト
思ハレルカ眞劔ニ動イテキル者ハ二百カ二百五十位テアル
然レ高級船員ノ心情ヲ全面的ニ推論スルト現會社幹部ノ人事
ニ對シ不快ニ思フテ居ルモノハ船長以下高級船員ノ中ニハ割
位ハアリ之等ノモ、ハ内心明頭會、社内革正ニ共鳴レ今回ノ
行動ニ同情ラシテ居ル様テアル隨ツテ船長一連ニ概カ此ノ問
題ヲ明頭會ト同一行動ヲトルカト言フトゲリケートナ問題テ
私ハ起タヌト思フ、ソレハ革議参加ノ明頭會カ團體明徹、旗
ヲ社内革正ニ結ヒ付ケタ点ニ付テ幾何的ニ面白クナイト考ヘ
テ居ル様テアルカラテアル
但シ此ノ革議カ會社ハ明頭會相方ニ関心ヲ持タレテ居ル問
題ハ香取丸カ違事ニ出航レ就航ヲ為レ終ルカ如何テアル其レ
ハ明頭會、有力分子テアル上野州機關長カ香取丸ニ乗り込メ